

特定非営利活動法人なかよし 2025 年度事業報告

2026 年 4 月 1 日

1. 法人運営について

(1) 理事体制

今年度は継続的に予定されていた理事会を全て開催することができました。昨年度同様に、遠方からも理事の皆さまに参加して頂ける体制として、Zoom と対面のハイブリッド型で理事会開催をおこなっていました。今年度も理事 8 名、監事 1 名の役員体制で法人の安定運営に向けて取り組みました。

(2) 総会・理事会

<総会>

第 25 回特定非営利活動法人なかよし総会

日時：2025 年 6 月 8 日 10：00～12：00

場所：特定非営利活動法人なかよし本部

正会員総数 29 名

出席者数： 18 名（表決委任者 9 名）欠席者 2 名

<理事会>

第一回 2025 年 5 月 26 日

第二回 2025 年 7 月 28 日

第三回 2025 年 9 月 22 日

第四回 2026 年 1 月 26 日

第五回 2026 年 3 月 30 日

(3) 正会員・賛助会員

正会員 29 名

賛助会員 14 名

(4) 法人・事業所

①職員体制

職員体制について、2025 年度は常勤職員の退職はなく、安定した職員体制で運営をおこなうことができました。非常勤職員については、元気ハウスの調理員や学生バイトの退職があり、随時補充しながら対応をしてきました。また、グループホームでは常勤職員の怪我による休職等の対応により、非常勤職員を増員する方向で対応をしてきました。法人全体のメンバーの減少もみられることから、各事業所の現状をみながら対応してきました。相談事業所は現状の職員配置に加え、事務作業を B 型職員が補助として入ったり、スーパーバイザーとして外部の職員に臨時で入ってもらったりしました。また、今年度も育児による短時間勤務の職員もそのまま継続して時短勤務をしています。さらに、昨年度同様、「ひまわりの家」「元気ハウス」は目標工賃達成指導員を配置して作業の効率化を目指し、より充実した支援を提供できるように努めました。

②法人・事業所の体制

就労継続支援 B 型の「ひまわりの家」・「元気ハウス」では、今年度も継続して自主製品の販売をおこなっています。こうした活動により、地域との繋がりも少しずつ広がりをみせています。また、お祭りやマーケットに出店することがあたりまえになり、メンバーもこうした活動に積極的に参加するようになりました。とりわけ「ひまわりの家」でおこなっている区役所や支所での販売を通して、メンバーの仕事に対するモチベーションが高まり、こうしたメンバーに影響を受けながら支援する側のモチベーションも高まっています。デイサービスセンター「なかよし」は、登録メンバー数に対し、月に数回の利用に限られているメンバーも多く、メンバーの出入りも他の日中活動より多いという特徴は変わらず継続しています。日中活動の利用日数制限から、土曜日に利用が偏ったり、外出イベントの日の利用が増えたりと、職員配置にも工夫が必要な日もありました。

グループホームでは、「グループホーム横井」「グループホームかの里」の 2 ヶ所の引っ越しがありました。「グループホーム横井」は吉津に新たに購入した物件にて、「グループホームひのき」として定員 7 名で新たに出発しました。その際、「グループホームかの里」は定員 10 名から 7 名に変更し、賃貸住宅のユニット 4 ヶ所から 3 ヶ所に削減しました。その後、新たな一戸建て住宅へ移動することになり、現在は 7 名がまとまって生活することができるようになっています。現在はそれぞれのグループホームの場所で夕食作り、職員の支援をすることができていることから、メンバーも比較的安定して生活ができています。一方で、今年度も 65 歳以上のメンバーが介護保険に移行となるケースがみられ、退去せざるを得ない状況となりました。メンバーの高齢化の課題にどのように対応していくべきか、継続課題として検討を続けています。

全体を通して、2025 年度は大きな変化はなかったものの、昨年度から継続している利用者減が続いており、今後の体制としてどのように法人全体で取り組んでいくべきか考えさせられる 1 年でした。また、障害のある人の 65 歳の問題やメンバーの親の高齢化、精神疾患特有の症状との向き合い方など、地地域の福祉事業所としてのあり方を見つめ直す必要もあると感じました。これからも、地域の支え手として、精神疾患・障害についての学びを深め、実践としておこなうことができるような法人を目指して活動を継続していきたいと思います。

さらに、昨年度からの継続課題となっている社会福祉法人化については、あまり進めることができず、保留になったままです。他法人との合併が良いのか、名古屋市ではなく愛知県に拠点を移して活動することが良いのか、その他に方法はあるのか、運営会議・理事会で継続して検討しながらすすめていかなければならないと思いました。

③法人における ICT の活用

今年度も NPO 法人の Microsoft Teams の無料版を利用し、事業所間の連携、全体の把握、法人委員の業務効率の向上を図りました。1 人 1 アカウントの対応から、事業所ごとの対応に変更して運用していますが、それぞれの事業所で職員全員が見れるような設定をすることで、細やかな支援体制を継続することができています。また、事業所内のオンライン会議や事例検討会も Teams を利用しておこなうことができることから、サービス提供時間内の会議等で移動が難しい場合でも Teams を活用して法人内の繋がりを重視してきました。

2. 法人財政について

法人全体として、障害福祉事業による健全財政を目指し、支援の質の低下が起きないための人員配置等、条件整備を確保しながら収入の向上を目指しました。経常収支としては増収となりましたが、全体として利用者数は減少傾向にあることから、事業所間の差が顕著になった1年になりました。特に、法人の財政基盤を支えている「ひまわりの家」と「グループホーム」以外の事業所では、単体での運営が難しい状況にあります。

また、今年度の大きな動きとして、グループホームかの里の移転先である一戸建ての改修工事がありました。キッチンとダイニングルーム、世話人室の改装工事など、グループホームに適合するように内部を整えました。その他、大きなお金の動きとしては、「デイサービスセンターなかよし」の送迎車を買いました。また、「デイサービスセンターなかよし」の借入金については、金利が高かった名古屋銀行から愛知銀行へ変更したことで、全体として約635,000円節約することができました。「デイサービスセンターなかよし」の返済期間はあと5年になりました。

今後の財政基盤の整備として、今年度も新施設建設準備積立金として、収益の一部を計上することにしました。本部のあるひまわりの家は2031年で契約が終了する予定となっており、移転の可能性があるため、今後の法人全体の動きをみながら積み立てをおこなっています。この先も安定した法人運営を継続することができるように、顧問税理士からアドバイスを受けながら取り組んでいきたいと思っています。

3. 労働環境の整備と法人運営について

今年度も名古屋市の相談支援事業所の運営補助金、物価高騰臨時交付金の申請をおこないました。また、国全体の物価の変化に応じ、常勤職員のベースアップや非常勤職員の賃金の変更もおこないました。経済的な現状に則し、全体として給与を上げていく必要性が問われており、来年度に向けて給与体系の見直しの必要性を感じています。

4. 学習会・研修会・全体会について

今年度も継続して法人内の学習会を積極的におこないました。各事業所が事例を提出する検討会に加え、全体会や内部で学びを深める全体会、個人で自主的に取り組む課題など、法人全体の支援の質の向上を図る取り組みを継続してきました。また、今年度は外部の研修として「日本精神障害者リハビリテーション学会」へ3名、「日本精神保健福祉士全国大会」へ3名が参加しました。法人全体で取り組んだ活動については以下の通りです。

・法人内研修

日時	研修名	内容	実施場所	講師
4月24日	事例検討会（担当：ひまわりの家）	攻撃的な言動があるメンバーへの支援について	ひまわりの家2階	
4月24日	法人全体会 16:00～17:00	①法人委員会決め ②2025年度処遇改善・人材確保補助金について	ひまわりの家2階	
7月17日	事例検討会（担当：元気ハウス）	生活にストレスを抱えがちな利用者さんの退院後のサポートについて	ZOOM	
9月19日	法人全体会	①BCP・感染症対策研修・訓練 ②現場研修報告 ③規定変更について	ひまわりの家2階	担当職員
10月30日	事例検討会（担当：デイサービス）	他者・異性との距離感	ZOOM	
1月15日	法人全体会	①感染症予防研修・訓練 ②虐待防止・身体拘束研修	ひまわりの家2階	感染症：荻原職員 虐待：吉口職員
3月26日	法人全体会	きょうされん学習会	ひまわりの家2階	やまびこ福祉会・島田様

・法人外研修

日時	研修名	内容	実施場所	参加職員
7月18日	精神障害者の地域移行関係職員に対する研修	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業において行われる精神障害者の地域移行関係職員に対する研修	名古屋市中村文化小劇場	横井奈美
8月22・23日	日本精神保健福祉学会学術集会・精神保健福祉協会全国大会	日本精神保健福祉学会学術集会・精神保健福祉協会全国大会への参加	西日本総合展示場	平澤・大橋・日比野貴
10月17・18日	きょうされん全国大会・奈良	きょうされん全国大会への参加	奈良県コンベンションセンター	職員4名・利用者5名
10月25・26日	日本精神障害者リハ学会	日本精神障害者リハビリテーション学会への参加	札幌医科大学	河原・遠藤・永井
1月20・21日	サービス管理者実践研修	サービス管理者更新のための研修（2日間）	ZOOM	水谷昌代

5. あいされん・きょうされんの活動について

《活動内容》

*あいされん運営会議参加状況

第一回あいされん運営委員会及び総会	(4/18)	出席
第二回あいされん運営委員会	(6/20)	出席
第三回あいされん運営委員会	(7/18)	出席
第五回あいされん運営委員会	(11/21)	出席
第六回あいされん運営委員会	(2/20)	出席

*あいされん中西ブロックでの取り組み

第1回中西ブロック会議（7/22）	おそうざいのさくらんぼ 参加
第2回中西ブロック会議（9/29）	NPO 法人なかよし 参加
第3回中西ブロック会議（11/25）	港つばみ作業所 参加

*第48次国会請願書名

署名数 821 筆 募金 5712 円

*物資売り上げ

夏季 486,820 円 冬季 391,730 円

*その他

名古屋市行政懇談会 参加者:山崎・実習生

きょうされん全国大会 奈良 10/17・18 参加者: 二宮、田中（貴）、山田（浩）、今野、伊藤（敏）

あいされん運営委員会や中西ブロックにも積極的に参加することができました。今年は1泊2日できょうされん全国大会 in 奈良に参加しました。職員もメンバーも楽しむことができ、それぞれレポートの提出もしていただきました。名古屋市行政懇談会では残念ながら発言の機会はありませんでしたが、きょうされんに参加されている方々の思いを直接聞くことができ、いい機会になりました。またきょうされん勉強会も実施していただき、きょうされん委員以外の職員にも署名や募金をすることの意義や大切さを学ぶことができました。今後は職員だけでなく、メンバーとも一緒にきょうされん活動の機会を増やしていきたいと考えています。

6. 地域連携（自立支援協議会への参加）

<広報部会>

日時	内容	実施場所	参加職員
4月23日	今年度活動方針について	中川区役所	橋本貴斗
6月16日	チームメッセンジャー養成講座	中川区役所	橋本貴斗
2月17日	来年度計画について	中川区役所	水谷美佳

<防災部会>

日時	内容	実施場所	参加職員
5月29日	事業所における防災のとりくみ	ライトハウス	香山晃範
7月28日	インクルーシブ防災と地域の助け合い	中川区役所	香山晃範
11月17日	火災図上訓練に関して（普段の防災意識）	中川区役所	香山晃範
2月9日	令和7年度の振り返り	中川区役所	香山晃範

<相談部会>

日時	内容	参加職員
4月9日	相談支援部会「事例検討会」	横井奈美
4月21日	相談支援部会「相談員交流会」	横井奈美
5月26日	人材育成部会「相談支援専門員とサービス管理責任者・サービス提供責任者との交流」	横井奈美
5月29日	相談支援部会「戸田川グリーンヴィレッジの防災における取組みの見学」	横井奈美
6月11日	相談支援部会「事例検討会」	横井奈美

8月20日	相談支援部会「松蔭病院相談員との勉強会」	横井奈美
8月22日	中川区社会福祉協議会「専門職の多機関協働について」	横井奈美
9月30日	四区合同部会「障害児支援におけるチームアプローチとは？」	横井奈美
1月23日	相談支援部会「障害福祉サービスと介護保険制度の違い」	横井奈美

<人材育成部会>

日時	内容	実施場所	参加職員
5月26日	今年度の活動方針	中川区役所	吉口奈那
6月23日	事例検討会「年頃の子がタブレットと上手に付き合うには」	中川区役所	吉口奈那
9月24日	ゲートキーパー研修	ZOOM	吉口奈那
10月27日	事例検討会「要望が通らないと周囲に助けを求める利用者への対応」	中川区役所	吉口奈那

<事務局会・定例会>

日時	内容	実施場所	参加職員
7月30日	第一回定例会 会長選出、各部会報告	中川区役所	香山晃範
6月16日	第一回事務局会 今年度の方針	中川区役所	香山晃範
11月12日	第二回事務局会 今年度の活動について	中川区役所	香山晃範
12月22日	第二回定例会 各部会報告	中川区役所	香山晃範
2月16日	第三回事務局会 来年度の活動について	中川区役所	香山晃範

<総会>

日時	内容	実施場所	参加職員
3月16日	R7年度自立支援連絡協議会活動報告	中川区役所	香山・横井

7. 広報活動・地域交流について

広報活動として、今年度も例年通り春号・夏号・秋号の計3回で法人ニュースを発行しました。正会員や賛助会員に加え、約200ヶ所の県内の関係機関や事業所にニュースを送付しました。法人ニュースはメンバーと職員が合同で組織している編集委員が中心となって作成していますが、最近では以前よりもメンバーの編集委員と共に作業をする機会が減っていると感じています。こうした点からも丁寧に作業をおこなっていく必要性を感じました。

また、昨年度に引き続き、株式会社ビジョンと契約を継続し、ホームページの掲載をおこなってきました。ホームページには、フリーマーケットの告知や広告などを記載し、少しでも多くの方々に見て頂けるように努めました。一方で、ホームページからの問い合わせは作業や事業所運営に関する営業が多くなっています。また、各事業所で開設しているInstagramでは、随時事業所の様子をアップして法人の様子を発信しました。昨年度からは法人のイベントをお知らせする法人のInstagramを開設し、イベント時やその他の活動内容を発信していますが、今年度は以前よりも投稿は少なく、発信も少なかったように感じました。

地域交流については、4月27日と10月26日の「おさんぽフリマ」への参加、6月28日の「あじさいコンサート」、8月1日・2日の「万場祭り」に加え、11月3日には、第4回「なかよしマーケット」をひまわりの家にて開催することができました。今回も子育て支援拠点事業をおこなっている「ゆるまる」さん、生活介護事業所の「やまびこ」さん、高齢者福祉事業をおこなっている「寿々」さんにもキッチンカーで参加していただき、多くの地域の方々にもご参加いただくことができました。9月23日にはデイサービスセンターなかよしにて、第2回「家族交流会」を開催し、第1回よりも多くのご家族に参加していただくことができました。また、2025年3月6日には「NPO 法人なかよし40周年記念イベント」を中川文化小劇場で開催し、100名以上の方々にご来場していただきました。当日は、なかよし創設者の小山千ひろさんにもお越しいたいただき、これまでの40年間の活動を振り返り、メンバーと職員が力を合わせてイベントを創りあげることができました。さらに、この日に合わせて40周年記念冊子を作成し、メンバーのリカバリーストーリーや関係者・職員の想いも形として残すことができました。今後も多くの方々との繋がりを構築し、なかよしらしい活動を続けていきたいと思っています。

8. 実習生について

今年度は、同朋大学から精神保健福祉士の実習生1名、社会福祉士の実習生3名、中部学院大学から精神保健福祉士の実習生1名、東京通信大学から精神保健福祉士の実習生1名、鈴鹿医療科学大学から精神保健福祉士の実習生1名を受け入れました。また昨年度から継続している、愛知県立総合看護専門学校からの看護学生41名を「ひまわりの家」「元気ハウス」「デイサービスなかよし」で回に分けて2日間ずつ受け入れました。看護を学ぶ学生達にも地域で生活する精神障害のある方々の理解を深めて頂く機会として今後も継続していきたいと思っています。それぞれの事業所で学生対応をすることで、法人内の職員の意識も高まり、自身の実践を振り返る機会にもなりました。職員教育の機会にもなっているため、今後とも受け入れられる範囲で、福祉の現場で学ぶことを希望する学生たちへの指導をおこなっていききたいと思います。

9. 障害福祉事業について

(1) 各事業所の利用実績

①就労継続支援事業所

*めいせい元気ハウス： 平均利用者数 11.5名（昨年度12.7名）

電話対応：159件 面談：82件 同行：2件 訪問：9件 面会：8件

*めいせいひまわりの家： 平均利用者数 16.0名（昨年度15.5名）

電話対応：402件、面談：115件、訪問：2回、同行：1回

②共同生活援助事業所

*グループホームなかよし： 平均利用者数 25.8名（昨年度25.5名）

③デイサービス型地域活動支援事業

*デイサービスセンターなかよし： 平均利用者数 17.4名（昨年度16.3名）

電話対応 908件、面談 291件、訪問 1件、受診同行 3件、見学・担当者会議 18件

④特定相談支援事業所

*相談支援事業所なかよし： 計画作成総数 361件（昨年度343件）

計画 76件（67件）・モニタリング 285件（276件）・児童計画 2件（1件）・
児童モニタリング 1件（4件）